

## 調査について

### 【調査概要】

都内医療保険者のデータヘルス計画に基づく取組について現状を把握することを目的に、東京都保険者協議会において令和5年8月14日（月曜日）から9月6日（水曜日）まで任意回答の調査を実施

### 【回答状況】

551保険者／678保険者（回答率 81.3%）

※被用者保険は健康保険組合、全国健康保険協会東京支部、共済組合の合計、国民健康保険は区市町村国保、国保組合の合計、後期高齢者医療は東京都後期高齢者医療広域連合の回答とする

## 後発医薬品差額通知の送付

被用者保険 383 / 473 保険者  
 国民健康保険 71 / 77 保険者  
 後期高齢者医療 1 / 1 保険者

### 8割以上の保険者で実施

被保険者記号番号	<差額通知イメージ>	
	処方実績	ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額
	医薬品名・投与期間・1日用量・院内／院外	自己負担相当額
合計		

## 後発医薬品希望カード・希望シールの配布

被用者保険 335 / 473 保険者  
 国民健康保険 68 / 77 保険者  
 後期高齢者医療 1 / 1 保険者

### 7割以上の保険者で実施

## その他使用促進に向けた取組

- ・広報誌又はホームページでの情報提供
- ・WEBページにアクセスすることにより、後発医薬品差額通知の内容を確認できるようにしている 等